

大学発ベンチャー「**起業前**」支援

大学発新産業創出基金事業 プロジェクト推進型 起業実証支援

2023年度 公募説明会

2023年4月

スタートアップ・技術移転推進部 スタートアップ第1グループ



科学技術振興機構

大学発新産業創出基金事業について

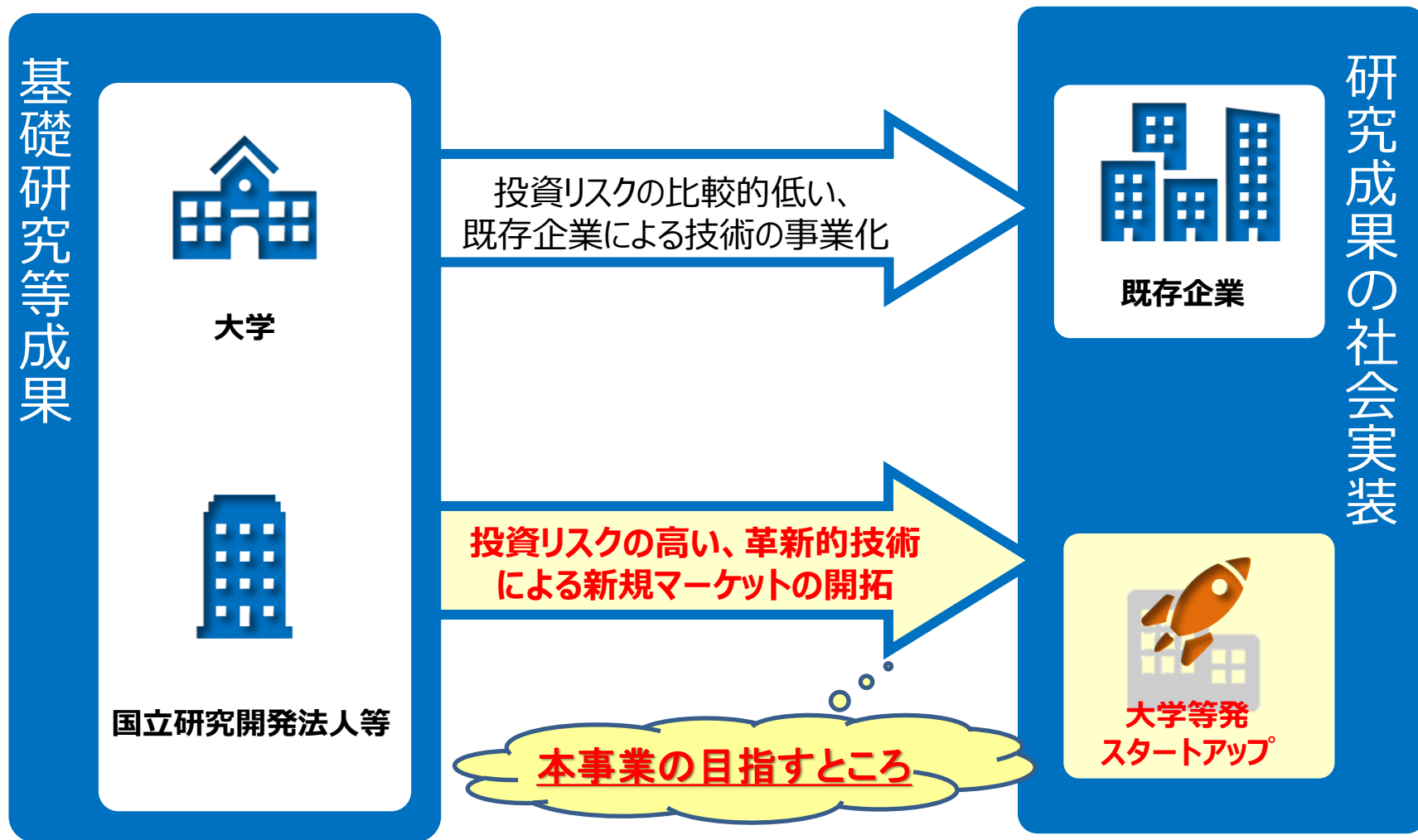
✓ 事業概要

大学等発スタートアップ創出力の強化に向けて、研究開発成果の事業化や海外での事業展開の可能性検証を視野に入れた研究開発を推進するとともに、地域の中核となる大学等を中心とした産学官共創による大学等発スタートアップ創出支援等を実施可能な環境の形成を推進します。

※「プロジェクト推進型 起業実証支援」は、研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム（START）で行ってきたプロジェクト推進型 起業実証支援を発展させ、令和4年度第2次補正予算においてJSTに造成された大学発新産業創出基金を用いて先行的に実施するものです。

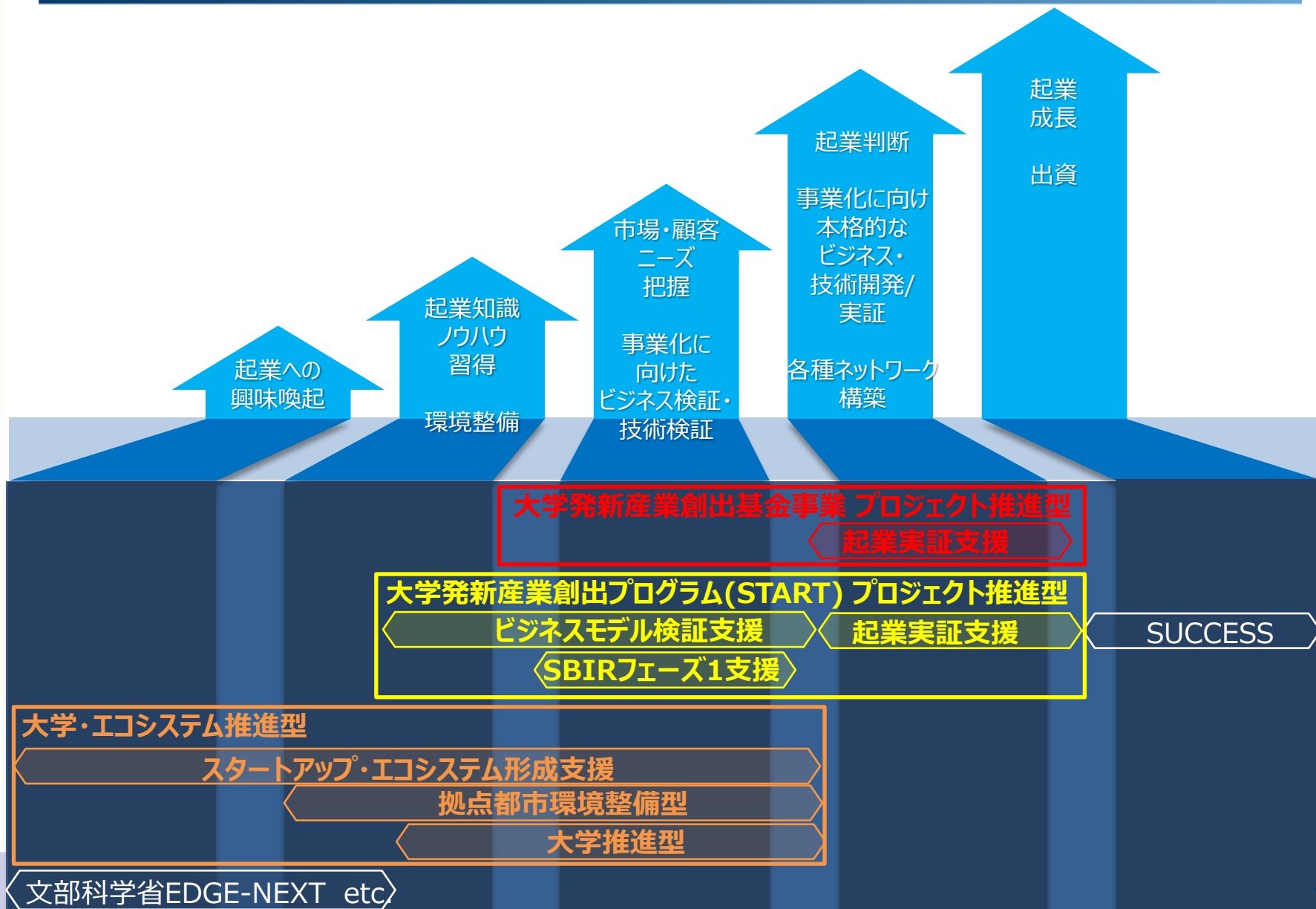
事業の目的

(1) 大学等発スタートアップ創設による研究成果の社会実装



事業の目的

(2) JST関連のスタートアップ支援事業の位置づけ



事業の目的

(3) 大学等発スタートアップの困難のブレークスルーに向けて

大学発スタートアップへの壁

市場ニーズへの
マッチングの壁



事業化に必要な
ネットワークの壁



事業化を支援する
リスクマネーの壁



① 事業育成やリスクマネー誘引に
熟練した**事業プロモーター**の活用

② **ビジネスモデル検証**
(事業戦略、知財戦略)

③ 研究開発の**投資家視点**による
プロジェクトマネジメント

④ **事業化に向けた研究開発と
事業育成**を一体的支援

本事業での支援

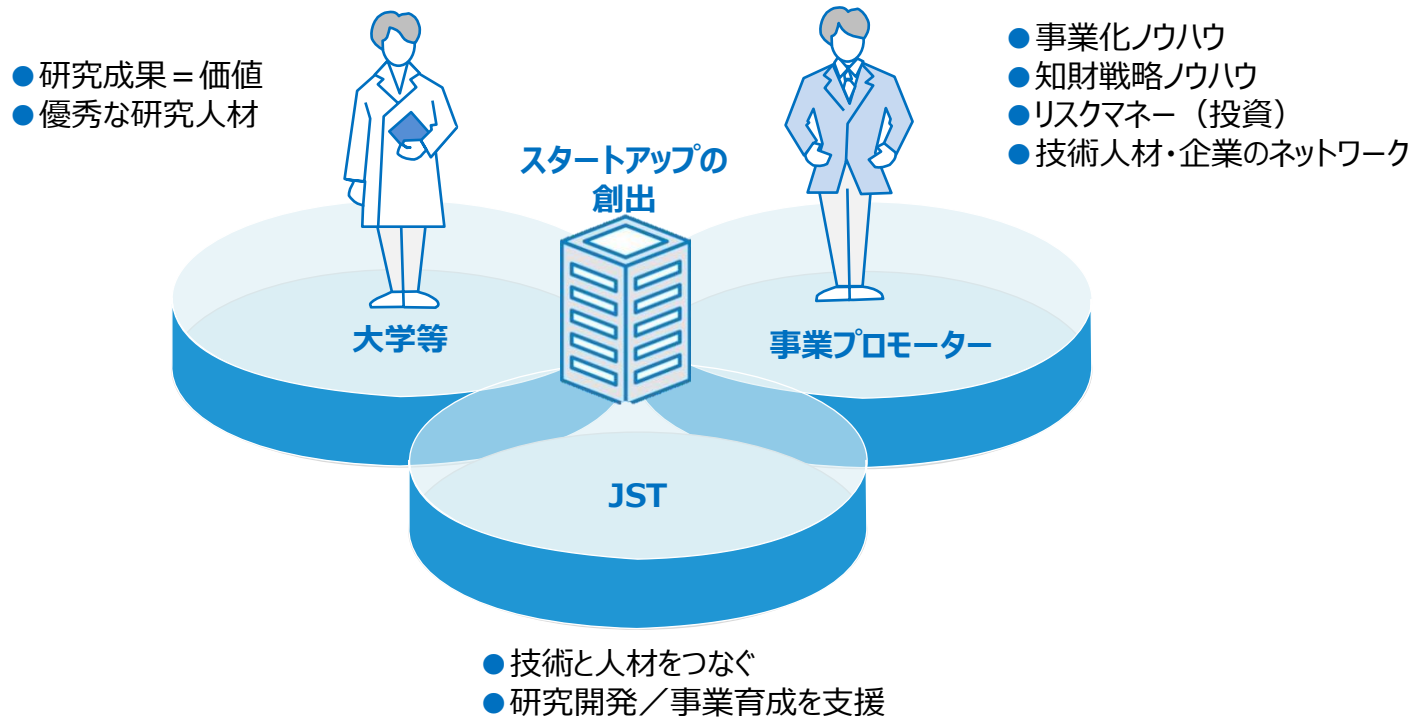
大学の革新的に向けた技術シーズの事業化に向けた研究開発と、
事業化ノウハウをもった民間人材による事業育成を支援期間内で**一体的に実施**し、
事業戦略・知財戦略を構築し、成長スタートアップの創出を目指す。

事業のしくみ

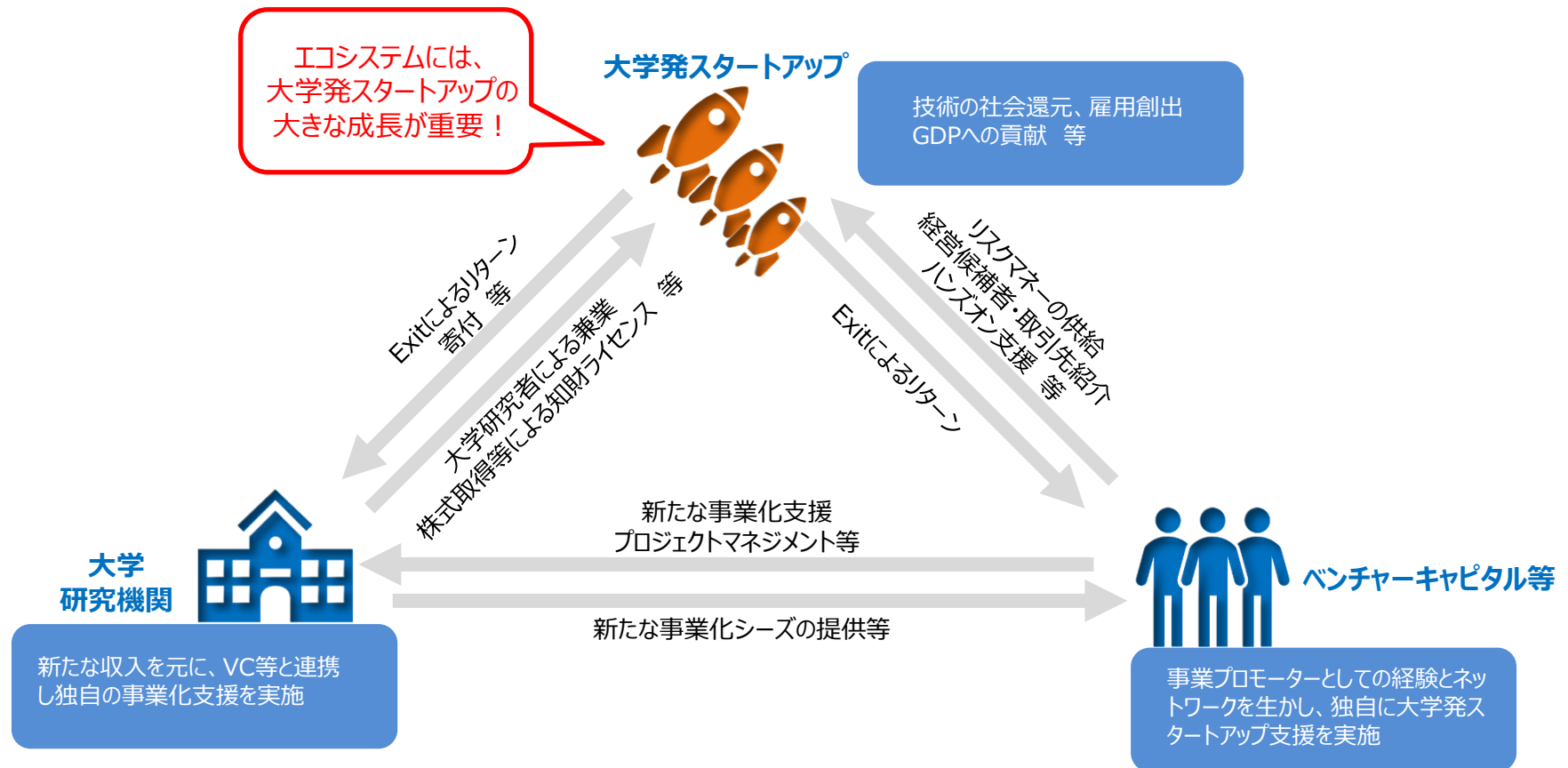
大学等発スタートアップ エコシステム

産学官金が連携して持続的な大学等発日本型イノベーションモデルの構築を目指す。

- 既存企業ではリスクを負えない**ポテンシャルの高い技術シーズの事業化に挑戦する**
- 大学等の革新的技術シーズを基に**グローバル市場を目指す**
- シード・アーリー段階にも民間資金を呼び込むことにより、**基礎研究と事業化の間に存在する研究開発の死の谷を克服する**
- 関係者が一定のコストを負担しつつ、コストに見合うメリットを得ることで**持続的なシステムを構築する**



目指すエコシステム（支援終了後）



今回の公募概要

研究開発期間：2年半程度（最長）

- ・ 令和5年12月～6年1月頃 から 令和8年3月末まで
- ・ 事業化までの期間の目途等を考慮し、研究開発終了日が令和8年3月より短い申請も可能

研究開発費：3,000万円（直接経費、年間上限）

※間接経費は、原則として直接経費の30%を別途措置

採択予定数：10件程度

STARTからの変更点：

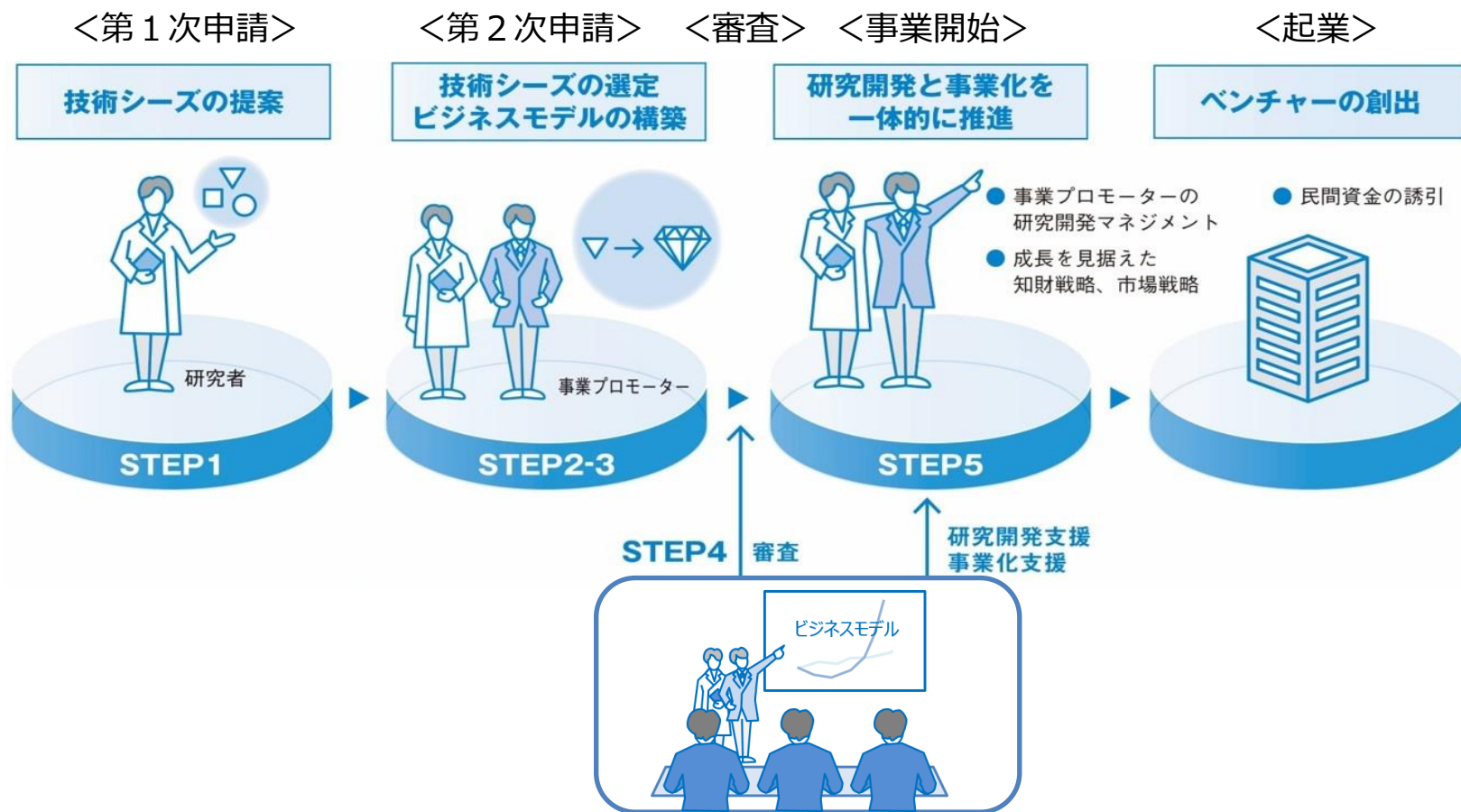
- ・ 特許関連経費を直接経費から支出することが可能※

※直接経費から支出する場合には以下の条件を満たす必要があります

1. 研究開発期間中に得られた研究成果、または、研究開発期間中に知財戦略を構築した結果、出願が必要となった成果（本研究開発期間開始前の成果）を出願するものであること。
2. 原則、委託研究開発期間内に出願すること。

起業実証支援のしくみ

申請～支援終了までの全体像



国費による起業実証支援で目指すのは「企業価値の高い、成長ベンチャー（start-up）の設立」

※ 起業実証支援は“通常の研究開発支援”や“一般的な会社設立助成”とは異なります。

起業実証支援のしくみ

第1次申請（研究機関から事業プロモーターへの提案）

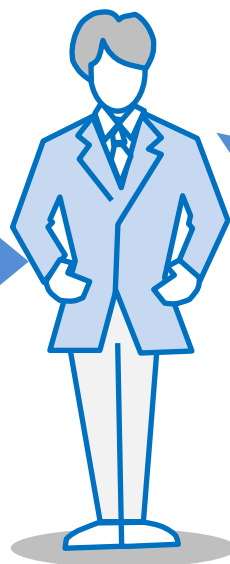
研究者



第1次申請

- ・技術シーズの内容、優位性
- ・想定している製品・サービス
- ・事業化に向けた研究開発計画
- ・研究開発体制 など

事業プロモーター



デューデリジェンス

- ・技術優位性、市場予測、知財状況
- ・技術完成度
- ・投資対象への育成可能性
- ・エビデンス
- ・対象分野 など

推薦決定

第2次申請の検討開始

**第1次申請締切：
5月31日(水) 正午**

事前に事業プロモーターユニットと合意が得られている場合は、第1次申請時に簡略化された第1次申請書様式を使用することができます。

2023年度 事業プロモーターユニット



- ・第1次申請 (大学等から事業プロモーターへの技術シーズ提案) で選択できる事業プロモーターユニットの一覧を掲載
- ・対象技術分野、事業育成戦略、実績、連絡先等の情報もあり

<https://www.jst.go.jp/start/index.html>

2023年度 事業プロモーターユニット



MedVenture Partners(株)



ANRI株式会社



日本戦略投資(株)



QBキャピタル合同会社



Beyond Next Ventures(株)



インキュベイトファンド株式会社



(株)デフタ・キャピタル



株式会社みらい創造機構



サナメディ(株)
旧社名：(株)日本医療機器開発機構



バイオ・サイト・キャピタル株式会社

Angel Bridge Angel Bridge株式会社



三菱UFJキャピタル株式会社

JAFCO ジャフコ グループ株式会社

事業プロモーターは、日々技術シーズを探索しています。
また第2次申請のための検討時間も非常にかかります。
そのため、第1次申請前に、事業化方針等の相性確認も含め、事業プロモーターに連絡されることを推奨いたします。

起業実証支援のしくみ

第2次申請 (研究機関と事業プロモーターからJSTに申請)

研究者 事業プロモーター



第2次申請

- ・技術シーズの内容、優位性
- ・事業化に向けた研究開発等の工程
- ・ビジネスモデル
- ・プロジェクト推進体制、予算計画
- ・リスクマネー調達計画
- ・知財戦略、リスクマネジメント
など

ヒアリング審査



第2次申請締切：
8月21日(月) 正午

<審査の観点>

- ・総合評価
- ・プロジェクト推進体制
- ・技術シーズ
- ・事業プロモーターの事業育成
- ・民間資金調達計画
- ・事業化に向けた研究開発プロセス
- ・利益相反、プロジェクト予算計画 など

プロジェクト開始

採択

申請書

第1次申請書 (PDF形式・メール提出)

- 1) 様式1 : 技術シーズ説明、プロモーター選択票 (必須)
- 2) 技術シーズ補足説明資料 (任意)

第1次申請締切 : 5月31日(水) 正午

第2次申請書 (PDF形式・e-Rad提出)

※事業プロモーターユニットと共同で作成いただきます。

- 1) 様式1 : プロジェクトの概要 (必須)
- 2) 様式2 : プロジェクト・事業プロモーター希望予算案 (必須)
- 3) 様式3 : 知的財産確認書 (必須)
- 4) ヒアリング審査に係るプレゼンテーション資料 (必須)
- 5) 技術シーズ補足説明資料 (任意)
- 6) プロジェクトに係るデューデリジェンスの結果を含めたプロジェクト計画資料 (任意)

第2次申請締切 : 8月21日(月) 正午

応募要件

応募者の要件

以下の要件をすべて満たしていること

- ・ 応募時点において、研究代表者が申請の核となる技術シーズの発明者である、もしくは発明に関わった者であること。
- ・ 研究代表者、及び主たる共同研究開発者（必要な場合）は、国内の大学等の研究機関に所属して、当該研究機関において研究開発を実施する体制を取ること
- ・ 申請の核となる技術シーズを利用したスタートアップの設立等により、大学等の研究成果の社会還元を目指していること。

研究体制の要件

以下の要件をすべて満たしていること

- ・ 連携する事業プロモーターのマネジメントにより知財の形成や標準化、データの構造化等の活動を踏まえたプロジェクトを推進できること。
- ・ プロジェクト推進型が目指すエコシステムの構築に賛同すること。

応募要件

その他の要件

以下の要件をすべて満たしていること

- ・申請の核となる技術シーズについては、本事業を通じて創出されるスタートアップの実施に関して、その技術シーズの発明者、技術シーズが帰属する機関等（特許出願人等）の同意が得られていること。（第2次申請にて研究機関として「知的財産確認書」を提出いただきます）

重複制限

		大学発新産業創出基金事業※				研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム					
		起業実証支援 (本事業)	可能性検証		起業実証支援、可能性検証以外の他事業(予定)	ビジネスモデル検証支援	SBIR フェーズ1 支援		スタートアップ・エコシステム形成支援 内の研究開発課題	大学推進型内の研究開発課題	
			【起業挑戦】	【企業等連携】			起業による技術シーズの事業化を目指す場合	技術移転による技術シーズの事業化を目指す場合			
大学発新産業創出基金事業※	起業実証支援 (本事業)	—	×	○	×	×	×	○	×	×	
	可能性検証	【起業挑戦】	×	—	—	×	×	×	○	×	×
		【企業等連携】	○	—	—	○	○	○	×	○	○
	起業実証支援、可能性検証以外の他事業(予定)	×	×	○	—	×	×	○	×	×	

○: 同時に実施可 ×: 同時に実施不可 —: 同時に申請不可(同一事業への複数申請は不可)

重複制限

		大学発新産業創出基金事業※				研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム					
		起業実証 支援 (本事業)	可能性検証		起業実証支援、可能性 検証以外の 他事業（予定）	ビジネス モデル検 証支援	SBIR フェーズ 1 支援		スタートア ップ・エコ システム 形成支援 内の研究 開発課題	大学推 進型内の 研究開 発課題	
			【起業挑 戦】	【企業等連 携】			起業による 技術シ ーズの事 業化を目 指す場合	技術移 転による 技術シ ーズの事 業化を目 指す場合			
研究 成果 展開 事業 大学 発新 産業 創出 プロ グラ ム	ビジネスモデル 検証支援	×	×	○	×	—	×	○	×	×	
	SBIR フェ ーズ 1 支援	起業による 技術シ ーズの 事業化を 目指す場合	×	×	○	×	×	—	—	×	×
		技術移転に よる技術シ ーズの事業化 を目指す場 合	○	○	×	○	○	—	—	○	○
	スタートアップ・エコシ ステム形成支援内の 研究開発課題	×	×	○	×	×	×	○	—	×	
	大学推進型内の研 究開発課題⑧	×	×	○	×	×	×	○	×	—	

○: 同時に実施可 ×: 同時に実施不可 —: 同時に申請不可(同一事業への複数申請は不可)

応募時の留意点

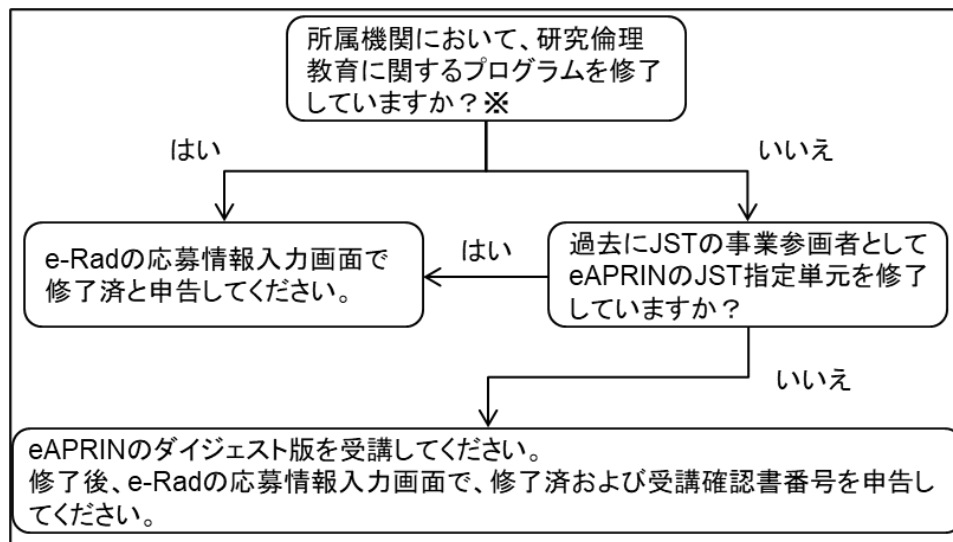
【研究倫理教育に関するプログラム】受講・修了について

JSTでは、競争的資金による公募型事業につきまして、

「申請する研究者等は所属機関において**研究倫理教育の講習を修了していること**」が応募要件となります。

研究代表者として申請される方は、申請前までに修了するようにお願いいたします。

受講登録および受講にかかる所要時間はおおむね1～2時間程度で、費用負担は必要ありません



受講する際は、下記URLより受講登録をしてください。

<https://edu2.aprin.or.jp/ard/>

国立研究開発法人 科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

JST公募申請用 Application for JST

国立研究開発法人科学技術振興機構では、「申請を行う研究者等は所属機関において研究倫理教育の講習を修了していること」を申請条件としています。こちらのページは、所属機関において研究倫理教育を受けることが困難な方を対象としたものです。
受講手順書を一通り読んだ上で、APRIN eラーニングプログラム (eAPRIN) の教材を受講し、受講確認書番号をe-Radの応募情報入力画面で入力してください。(締め切り厳守)
※2019年6月より、公募申請用eAPRINダイジェスト版が新しくなりました。

Researchers and others who wish to submit new proposals to Japan Science and Technology Agency must meet the requirement that they have "completed a training program on research integrity at their organizations." The information on this page is for those who do not have the opportunity to receive training on research ethics at their organizations.

Please read the step-by-step guide to enrolling in the APRIN e-learning program (eAPRIN), study the course material, and provide your confirmation report number in the e-Rad online application form by the specified deadline.

*Effective June 2019, APRIN has redesigned eAPRIN RCR digest module website for JST application.

※受講ページはベシック認証で保護されています。受講へ進む前に、「受講手順書」で共通のユーザ名とパスワードをご確認ください。
* The lesson page is protected by basic authentication. Please check the Common Username and Password on the User's Manual before proceeding the lesson.

- 1 受講手順書はこちらから
Download "Step-by-step guide to enrolment"
日本語版 English version
- 2 受講はこちらから
Start the course
日本語版 English version

応募時の留意点

【研究倫理教育に関するプログラム】受講・修了について

e-Rad の応募情報入力画面で、修了していること及び受講確認書に記載されている**受講確認書番号（数字7桁+ARD※）**を申告してください。

※令和元年8月以前に修了した場合は、Ref#から始まる番号となります。

eAPRIN画面

e-Rad申請画面

基本情報	研究経費・研究組織	個別項目	応募・受入状況
[確認]研究機関における 公的研究費の管理・監査 のガイドライン(実施基 準)(平成26年2月18日改 正)の内容を理解し、遵守 することを誓約しますか。			
		<input type="radio"/>	内容を理解し、遵守することを誓約します。
[確認]本提案が採択され た場合、不正行為並びに 活動費の不正使用を行わ ないことを誓約しますか。			
		<input type="radio"/>	不正行為並びに不正使用を行わないことを誓約します。
[確認]本提案書に記載し ている過去の業績におい て、不正行為は行われて いないことを誓約しますか。			
		<input type="radio"/>	不正行為が行われていないことを誓約します。
[確認] 研究倫理に関す る教育プログラムの修了 状況について回答してく ださい。(eAPRIN(旧 CITI)を含む)			
		<input type="radio"/>	所属機関のプログラム(IBCITIを含む)を修了している
		<input type="radio"/>	JST事業等でeAPRIN(IBCITIを含む)を修了している
		<input type="radio"/>	eAPRINダイジェスト版を修了している(修了証番号を入力)
[確認] eAPRIN(IBCITI) ダイジェスト版を終了し ている場合、修了証番号 を入力してください。 (該当者は必須)			
		<input type="text" value="1930327ARD"/>	

* 受講確認書番号について

e-Rad の応募情報に入力する受講確認書番号は受講確認書の下記の場所に表記されています。(数字7桁+英文字3桁)

単元名(Lesson name): 責任ある研究行為ダイジェスト/< Digest Version >
Responsible Conduct of Research_RCR

受講日(Passed on): 2019/07/03

受講確認書番号(Confirmation Report Number): 1930327ARD ← 受講確認書番号

採択後の補足説明

研究費の不正な使用等に対する措置

本事業において研究費の不正な使用等が行われた場合には、**研究の中止、研究費等の全部または一部の返還の措置**をとります。また、不正の内容等に応じて、**本事業および国の他の競争的研究費制度への申請および参加の制限措置**をとります。

- 公的研究費は、国民の貴重な税金を原資として成り立つため、助成機関の使用ルールや、研究機関における使用ルールにより適切に管理されることが必要です。
- 使用ルールの誤った理解により、思わぬ不正に繋がるケースが多く、注意が必要です。
- それぞれの使用ルールの確認などについて、日頃から研究機関の事務担当者等に相談することが大切です。

不正に関与した研究者に対する主な措置

人事処分

[所属機関の懲戒規定等]

*懲戒の事例として、懲戒免職、停職、減給等があります。

不正使用金額の返還

[補助金摘果化法又は委託契約条項]

*不正使用した当時から返還までの期日に応じた加算金等が加算されます

刑事処分

[刑法]

*悪質な不正使用事案の多くは詐欺罪が適用されています

競争的研究費の応募資格制限

[関係府省申合せ]

*平成24年度の改正にご留意ください。

(参考) START実績





























































(1) 旧プロジェクト支援型 申請・推薦獲得・採択の実績

	① 第1次 申請数	② 第2次 申請数	③ 採択数	推薦率 (②÷①)	採択率 (③÷①)	活動 プロモーター ユニット数
2012年度	168	40	27	24%	16%	7
2013年度	208	34	16	16%	8%	11
2014年度	137	38	15	28%	11%	12
2015年度	115	32	12	28%	10%	12
2016年度	88	31	11	35%	13%	16
2017年度	94	35	13	37%	14%	13
2018年度	82	18	9	22%	11%	12
2019年度	74	19	10	26%	14%	13
2020年度	76	27	9	36%	12%	14
2020年度(補正)	15	8	3	53%	20%	14
2021年度	51	26	5	51%	10%	15
2022年度	83	26	6	31%	7%	15
合計	1,191	334	136	28%	11%	—

(参考) START実績

(2) START発ベンチャー

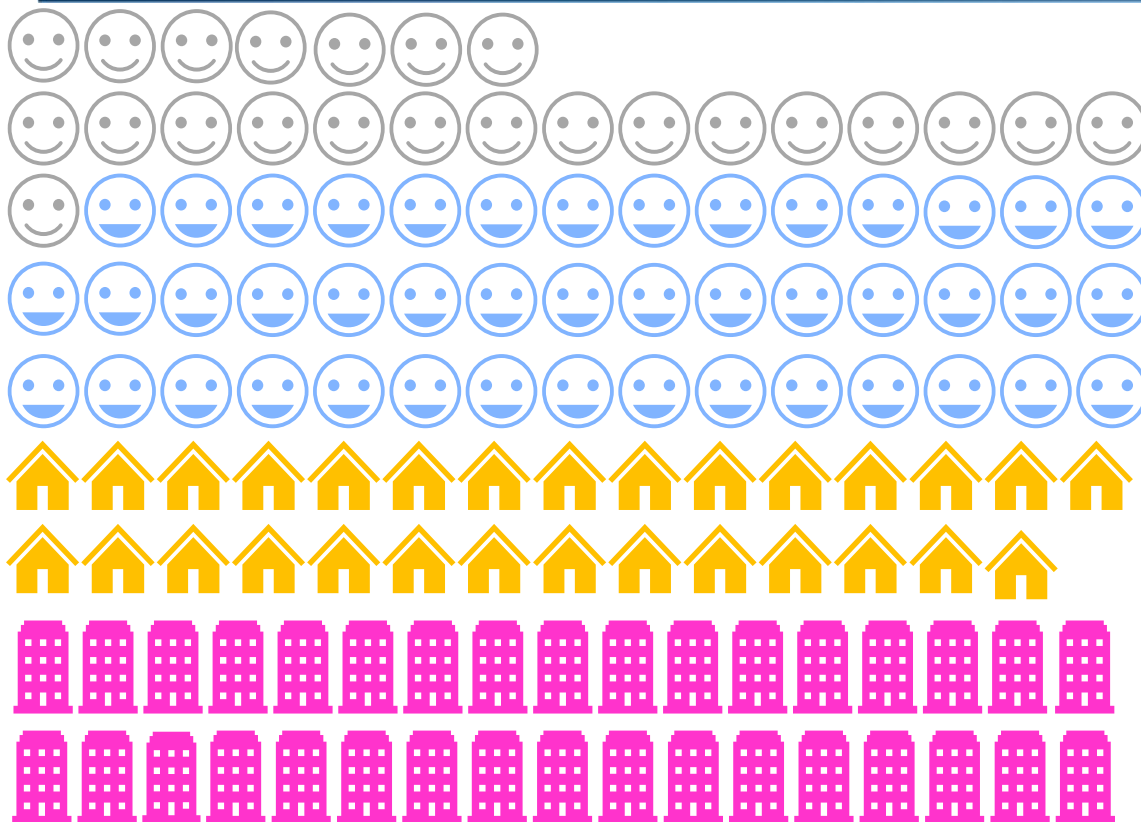
(下図は、2023.3月現在 70社)

 KOEDA 株式会社KOEDA	 Pale Blue 株式会社Pale Blue	 PLIMES PLIMES株式会社	 インテリジェント・サーフェス株式会社
 Equemenopolis 株式会社エキュメノポリス	 OOYOO 株式会社OOYOO	 LiberoThere リベロセラ株式会社	 Marine Nano-fiber 株式会社マリンナノファイバー
 Link for Life LM リンクメッド株式会社	 LQUOM LQUOM株式会社	 KAICO KAICO株式会社	アンチエイジングペプチド株式会社
 株式会社TearExo	 株式会社アイ・ブレインサイエンス	 CHITOSE ROBOTICS 株式会社チトセロボティクス	KanonCure カノンキュア株式会社
 株式会社ビーフォース	 MabGenesis MabGenesis株式会社	 Algal Bio 株式会社アルガルバイオ	 株式会社TOFFEE
 Cosomil コウソミル株式会社	 BIOALCHEMY BioAlCHEMY株式会社	 株式会社DDSNA	 Future Ink 株式会社フューチャーインク
株式会社fineOptimAI	 APSAM 株式会社APSAM Imaging	 e-NA Biotec Inc. 株式会社e-NA Biotec	PIHPメディカル株式会社
 株式会社MAQsys	 mibio 株式会社ミーバイオ	 ZUVA Zuva株式会社	 ひびきの電子株式会社
 株式会社FingerVision	 NanoSuit Inc. NanoSuit株式会社	 PerioTherapia ペリオセラピア株式会社	 BullWave ボールウェーブ株式会社
 株式会社おおいた CELEENA	 CoolALD 株式会社Cool ALD	 LTT ライトタッチテクノロジー株式会社	 muLab 株式会社ミューラボ
 NOVIGO NOVIGO Pharma株式会社	 PREPPERS 株式会社プレッパーズ	株式会社食機能探重研究所	provigate 株式会社PROVIGATE
 株式会社日本炭素循環ラボ	 メドリッジ メドリッジ株式会社	 GRA&GREEN グランドグリーン株式会社	 SIRC 株式会社SIRC
 SOTHIS TECHNOLOGIES 株式会社ソティステクノロジーズ	 BIONIC M BionicM株式会社	 Device Lab Inc. 株式会社デバイスラボ	 TOKWA Bio ときわバイオ株式会社
株式会社Flying Cell	 Jij 株式会社Jij	 HuLA immune 株式会社HuLA immune	 TAKE-PLAS LLC 合同会社テイクプラス
 HiLung株式会社	 iXstream 株式会社イクストリーム (iXstream)	 ひむかAMファーマ株式会社	 Okinawa Biotech 沖縄プロテントモグラフィック株式会社
 VENENO TECHNOLOGIES Veneno Technologies株式会社	MHペプチド株式会社	 RIVERFIELD INC. リバーフィールド株式会社	 OKFT 株式会社OKファイバーテクノロジー
 ORLIB ORLIB株式会社	 株式会社FutureMe	 CoreTissue BioEngineering 株式会社	 MC 株式会社マテリアル・コンセプト

(参考) START実績

(3) START発ベンチャーのアウトプット、アウトカム

2023.03更新



- 採択プロジェクト総数
(2012～2022年度) **136** PJ
- 終了プロジェクト総数
(2023年3月末日) **125** PJ
- ベンチャー設立数
(2023年3月時点) **70** 社
- ステップアップ数
(出資1億円以上調達など) **40** 社
- 売上発生社数
(2022年8月時点把握分) **42** 社
- 雇用創出数
(2022年8月把握分) **495** 名

【起業率】

56%

ベンチャー設立数 (70社)
終了プロジェクト数 (125PJ)

【ステップアップ率】

57%

ステップアップ数 (40社)
ベンチャー設立数 (70社)

【資金調達平均額】

約**4.5**億円

全社リスクマネー調達総額(319億円)
ベンチャー設立数 (70社)

(参考) START実績

(4) START発ベンチャー事例 (抜粋)



株式会社アイ・ブレインサイエンス

Founded 2019

大阪大学



BionicM株式会社

Founded 2018

東京大学

世界初！「目の動き」を利用した ストレスのない認知機能検査法の開発

—アイ・トラッキング式認知機能評価法で、認知症診断に明るい未来を—



画期的な認知症診断補助ソフトウェアプログラムの誕生
もう一度受けたくなる検査法を、医療へ、暮らしへ

バイオ・サイト・キャピタル株式会社
代表事業プロモーター
株式会社アイ・ブレインサイエンス
非常勤取締役

谷正之
(事業プロモーター)

大阪大学 准教授

武田 朱公
(研究代表者)

株式会社アイ・ブレインサイエンス
代表取締役社長

高村 健太郎

最先端のロボティクス技術を用いてユーザーの 動きをアシストする「パワード義足」の事業化

—世界中の人々に、パワード義足で歩く感動を—



ハンディキャップを持つ人々のモビリティにパワーを！
ユーザーの美しい歩行とアクティブな生活を実現



BionicM株式会社
代表取締役
孫 小軍



東京大学
大学院情報理工学系研究科 教授
稲葉 雅幸
(研究代表者)



株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ
パートナー
BionicM株式会社 社外取締役
井出 啓介
(事業プロモーター)

スケジュール

募集スケジュール (※1)	
第1次申請 締切	5月31日(水) 正午 ＜提出方法：メール＞
第2次申請 締切 (※2)	8月21日(月) 正午 ＜提出方法：e-Rad＞
委員会ヒアリング審査 (※3)	9～10月頃
プロジェクト開始	令和5年12月～ 令和6年1月頃

※1：上記の日程は予定であり変更される場合があります。

※2：第2次申請は事業プロモーターの推薦を得た申請者のみ申請できます。

※3：ウェブ会議システム等を利用したリモート審査を予定しています。

本プログラムの詳細、公募要領、申請書様式：

<https://www.jst.go.jp/program/startupkikin/>

〒102-0076
東京都千代田区五番町7 K's五番町

国立研究開発法人 科学技術振興機構
スタートアップ・技術移転推進部
起業実証支援 募集担当窓口

E-mail : <本事業に関するお問い合わせ>
start-boshu@jst.go.jp

- JSTホームページ : <http://www.jst.go.jp>
- 大学発新産業創出基金事業ホームページ : <https://www.jst.go.jp/program/startupkikin/>